

第8回逆相タンパク質アレイ・国際ワークショップ

2019.3.24 Sun ~ 25 Mon

会場：国立がん研究センター新研究棟

▶▶▶本ワークショップで、岩手医科大学医歯薬総合研究所 西塚 哲先生のグループより、弊社の Hypercool Primer & Probe™ を用いた超高感度定量の研究結果について発表があります。

Hypercool テクノロジー™ は、短い DNA・RNA の検出を可能にする技術です。

ワークショップ：S7-2 (3/25 16:10~16:35)

「Genomic and proteomic evaluation in post-therapeutic gastrointestinal cancer relapse」

ヒト消化器がんのゲノム多様性が、タンパク量や ctDNA にどのように反映されるかを検証した研究です。血中の ctDNA について、原発腫瘍の変異解析で同定された遺伝子を Hypercool Primer & Probe™ 技術によるデジタル PCR で超高感度定量を行っています。

▶▶▶第8回逆相タンパク質アレイ・国際ワークショップ

会場：国立がん研究センター新研究棟

アクセス：

都営地下鉄 大江戸線 築地市場駅 A3 番出口から徒歩 1 分

東京メトロ 日比谷線 築地駅 2 番出口から徒歩 5 分

東京メトロ 日比谷線・都営地下鉄 浅草線 東銀座駅 6 番出口から徒歩 5 分

東京メトロ 有楽町線 新富町駅 4 番出口から徒歩 10 分

第8回逆相タンパク質アレイ・国際ワークショップのホームページはこちらから

<https://rppa2019.jp/>

RPPA2019 : 8th Reverse Phase Protein Array Global Workshop : 第8回逆相タンパク質アレイ・国際ワークショップ

世界各地の研究室が独自に開発した逆相タンパクアレイ (RPPA, reverse-phase protein array) に関するノウハウを共有するため、2011 年に米国ヒューストンで第 1 回が開催された後、英国エジンバラ (2012 年)、神戸 (2013 年)、パリ (2014 年)、米国マナサス (2015 年)、独国チュービンゲン (2016 年)、ダブリン (2017 年) で年次に開かれました。2019 年 3 月 24 日 (日)、25 日 (月) のワークショップは日本で開催されます。

欧米から 100 人を超すタンパク質や精密医療 (プレジジョンメディスン) の基礎と臨床の研究者と、医師などの医療関係者の参加が見込まれているのに加え、国内および近隣アジア諸国からの参加者も相当数に上ると見られています。(案内書より抜粋)